



沖縄経済を進化させる情報紙

Okinawa Venture Studio

October. 2024
Vol.

沖縄ベンチャースタジオ

76

Take
Free

読者プレゼント有



「表紙の人インタビュー」
seven oopsさん
ミュージシャン

【特集】創刊20年特別鼎談
これまでの20年、
これからの沖縄経済

【ナイスアイデアなナイスアイテム】

紅型柄プリント商品/
運転請負サービス ポケバイ

【ビジネスの挑戦者たち】

ファミリー企画(株)平良奈々 代表取締役社長

【ネットワーク会員からのお知らせ】

【ネットワーク会員広場】
【海外レポート】

沖縄ベンチャースタジオWEBサイト



〒901-0152 沖縄県那覇市小祿1831-1
沖縄産業支援センター4階401
TEL 098-859-6237 <https://www.okinawa-ric.jp/>
発行：(公財)沖縄県産業振興公社

さあ、来年の手帳を選ぼう!

県内主要書店・楽天市場・
わしたショップ等で好評販売中



2種類のカバーを
リバーシブルで!



フルオープンで
書き込みやすい



便利で丈夫な
Wポケット付

- 用紙もインクも環境に配慮
- UDフォントやカラーの採用
- 売上の一部を環境保護活動へ寄付



沖縄リゾートダイアリーはSDGsに取り組んでいます

2025 沖縄リゾートダイアリー

ポケット判 166 × 88mm 価格:1,210円(税込)
A5判 210 × 148mm 価格:1,760円(税込)



沖縄ベンチャースタジオ 創刊20年特別鼎談

これまでの20年、 これからの沖縄経済

「沖縄経済を進化させる情報紙」をコンセプトに2004年に創刊した沖縄ベンチャースタジオ。沖縄の本格的な経済専門紙として創刊し、これまでの20年間、常に沖縄経済の「いま」を見つめ、ビジネスのヒントとなる情報を掘り起こし、沖縄経済の進化を促す情報発信に努めてきた。今年10月で創刊20年を迎えるあたり、創刊に携わった島田勝也さん、江島民子さん、安慶名貢さんに、これまでを振り返り、沖縄経済の今後の可能性について語ってもらった。



沖縄県産業振興公社の 存在を知ってもらうための メディア誕生

安慶名 沖縄ベンチャースタジオは創刊当時、沖縄県産業振興公社(以下、公社)のメンバー全員が編集委員という認識で、それぞれが担当する企業を紹介していきましよう、という姿勢でした。しかも始まりは情報紙ではなく、テレビの情報番組でした。島田さんがコメンテーターとして出演されていましたよね。

島田 そうでしたね。そもそもの始まりは、僕が「テレビ番組を作ろうよ」という話を出したことがきっかけだったと記憶しています。当時僕はNTTからの出向で公社に来ていたのですが、公社は公的機関で、企業が開発した商品やサービスをPRする影のサポート役という立ち位置。でも正直なところ、何をしている組織なのか分からない人も多かったと思います。そこで、公社が前に出て、補助金をはじめとするさまざまな企業支援をしていることを、メディアを通してちゃんと伝えようということ。番組をスタートさせて紙媒体にも落とし込もうと考えたわけです。今は動画の配信チャンネルがたくさんありますが、以前はテレビで放送したらそれで終わり。それでは残らないということで、ビジネス専門紙も創刊することにしました。

安慶名 テレビ番組も紙媒体も、沖縄ベンチャースタジオを通して公社の認知度は確実に上がったと感じています。創刊時は、公社がロゴマークや経営理念を作るなど、ちようど組織改革を行っているタイミングでした。今考えると、その時期だったからこそ、公社の立ち位置を示すメディアを作ることが受け入れられたのかもしれないと思います。

島田 当時僕は、ベンチャー企業を発掘して支援するのが自分の使命だと思っていました。それに公社のお金を使って制作するのではなく、スポンサー、いわゆる広告出稿者を見つけることで運営していたので、制作する上での自由度は高かったと思います。公社がこういう形で媒体を持つのは珍しく、全国紙などでも取り上げられましたね。「官が民に切り込んだ」という見出しで記事を書いてもらった記憶があります。

話題性のあるメディアは 公的機関としての大きな挑戦

安慶名 当時掲げた「沖縄経済を進化させる情報紙」というコンセプトは今も生きています。

島田 嬉しいですね。僕は沖縄ベンチャースタジオというメディアを通して、「沖縄のこれからを表現したい」とずっと言っていました。制作内容について口を出すことはほとんどありませんでしたが、「オピニオンリーダーに聞く」というコーナーだけ

島田勝也 (しまだかつや)

沖縄大学 地域研究所
特別研究員、非常勤講師

沖縄ベンチャースタジオ初代発行責任者。NTT西日本より沖縄県産業振興公社へ出向時に、沖縄ベンチャースタジオの立ち上げに発行責任者として携わる。沖縄県沖縄市出身。



は、自分で取材に行っていました。沖縄振興に大きく関わられている方に取材をして、沖縄経済全体の話をしてもらおう企画でした。

安慶名 創刊準備号から表紙にはインパクトのある方がたくさん並んでいますよね。

島田 余貴美子、森山良子、秋吉久美子、川島なお美…。こういうビッグネームの方に表紙を飾ってもらったのも、公社の認知度を上げるためと、メディアとしての価値や共感を生むためでした。世間一般から見ると公社の固いイメージを変えたいという気持ちもありましたね。でもかなり挑戦的なことをしていたので、影ではやりすぎだと言われていたんじゃないか？とも思いますが(笑)、実際のところどうでした？

安慶名 いや、大丈夫でしたよ(笑)。当時は私もまだ経験が浅く分からないことの方が多かったのですが、公社の職員として自分たちが応援している企業がテレビや紙面で紹介されるのはやっぱりワクワクしましたね。紹介したことを企業の方が喜んでくれて、それがさらにその企業の成長に繋がった時は、我がことのように嬉しいものです。

島田 創刊号から紙面を振り返ると、その時々の沖縄の経済の動きが見えてきますが、江島さんにeコマースに関するコラムを執筆いただいたのも、当時の沖縄にはネットビジネスのチャンスがあったからだったと記憶していますが、いかがですか？

江島 そうですね。「普段あなたがやっていることは沖縄のビジネスのヒントになるはずだから」と、たまたま沖縄ベンチャースタジオの制作を担当されていた知り合いから声をかけていただいて、執筆させていただけことになりました。その頃は時代的にネット通販が広がりはじめたタイミングでした。

安慶名 当時、沖縄のネットビジネスはどのような状況でしたか？

江島 沖縄は「なんでこんなに遅れているんだろう」と疑問に思うほど、この分野では全国よりも10年ほど遅れている状況でした。なんでも一時期、沖縄でホームページ関連の詐欺まがいの営業がたくさんかけられて、被害に遭った方がたくさんいらっしゃったようです。それがきっかけでインターネットへの不信感が強くなっていったことが理由の一つだったと聞きました。

江島民子 (えじまみこ)

株式会社グリーゼ
代表取締役社長

eコマース、ネットショップの売上アップのサポート事業で全国でセミナーを開催する中で沖縄県産業振興公社と縁ができて、沖縄ベンチャースタジオ創刊号よりコラムを執筆。今年、神奈川県から沖縄へ移住。





67号 / 挑戦する人を応援する媒体として、初の女性落語家を目指し修行する沖縄出身の女性を起用



63号 / 表紙に初めて二次元のアイドルを起用。媒体として、新たなことに挑戦し続ける姿勢を示した



54号 / 沖縄発の歌姫の引退のタイミングに合わせ表紙に起用。県内外から入手希望の問い合わせが殺到した



2号 / ビジネスに女性のアイデアが必要との考えから県内の女性アナウンサーによる鼎談を開催、反響を呼んだ



73号 / SNSの影響が増す時代背景を受け、インフルエンサーとして活躍するDELIVAさんを起用



72号 / 特集の「沖縄のスポーツ振興」と合わせて絶大な人気を誇る琉球ゴールデンキングを表紙に



69号 / ジェンダー平等の意識の重要性が説かれる世論を反映し、表紙に初めて男性を起用した



3号 / 創刊準備号から立て続けに大物女優や歌手が表紙を飾り、沖縄ベンチャースタジオの知名度が向上した

節目となったバックナンバー

沖縄県産業振興公社ウェブサイトですべてのバックナンバーをご覧いただけます。
<https://okinawa-ric.jp/ovs/>



創刊準備号 / 創刊に向け、発行責任者の島田さんが「沖縄経済を進化させるメディア」を目指す意気込みを語っている



創刊号 / 記念すべき創刊号では沖縄のベンチャービジネスの可能性と課題をテーマに鼎談を実施した

江島 そうですよ。そこで当時、私がお願いしたのが「いくらでもいいからセミナー受講料をとるべきだ」ということでした。助成金などを使えば無料で開催はできますが、自分でお金を出して参加しなければ、せっかくセミナーを受けても身にならないですから。これは沖縄に限らず、

安慶名 地理的な面から考えると、沖縄こそネットビジネスは必要で、チャンスもあるはずですよ。

安慶名 ネットビジネス全体への警戒心が強くなっていたんですね。

江島 当時私は全国各地でセミナーを開いていたのですが、その中で、地方であればあるほど「ネットショップはチャンスだ」と感じている方が多く、積極的な方が多くいらつしやいました。沖縄もそうだろうと思っていたのですが、最初に「有料のセミナーでは絶対に人を集められない」と言われてしまつて。そこでインターネットへの不信感があることを聞いて状況を理解したのですが、その時に思ったのは、知識的なことを伝える前にまず、沖縄のみなさんの意識を変える必要があるということでした。

安慶名 ネットビジネス全体への警戒心が強くなっていたんですね。

安慶名 貢

(あげなみつぐ)

公益財団法人沖縄県産業振興公社
産業振興部長

沖縄県産業振興公社に1991年入社。さまざまな産業振興事業を担当する傍ら、沖縄ベンチャースタジオ創刊準備号より現在まで、支援する企業のPRサポートの一環として制作に携わる。



江島 20年前に私が沖縄に来た時は、内地に追いつこうという雰囲気が強かったように思います。でも今はもうそんなことは全然なくて、むしろ、世界の人が今求めているものが沖縄にはあるように感じています。それは沖縄のカルチャーとも言えるか

安慶名 沖縄は時代のニーズとともに発展をしてきました。今後を見据えた時、私自身の考えとしては、沖縄はやはり地理的優位性を利用するのが良いと思います。沖縄はイメージが抜群に良いんですね。例えば化粧品品の製造を例にとると、沖縄の自然から生まれる原材料の魅力であったり、土地としての美しさから、バイヤーさんを沖縄に連れてくるとほぼ100%が成約につながります。沖縄のアイデンティティとちよつとした「ゆるさ」も海外の方々に受け入れられており、これらを活かして世界を相手にビジネスすることで沖縄は発展していけるのではと思っています。

安慶名 沖縄は時代のニーズとともに発展をしてきました。今後を見据えた時、私自身の考えとしては、沖縄はやはり地理的優位性を利用するのが良いと思います。沖縄はイメージが抜群に良いんですね。例えば化粧品品の製造を例にとると、沖縄の自然から生まれる原材料の魅力であったり、土地としての美しさから、バイヤーさんを沖縄に連れてくるとほぼ100%が成約につながります。沖縄のアイデンティティとちよつとした「ゆるさ」も海外の方々に受け入れられており、これらを活かして世界を相手にビジネスすることで沖縄は発展していけるのではと思っています。

今後の沖縄経済に秘められた大きな可能性とは

安慶名 沖縄はネット通販で販路が広がるお店や企業が当時も今もたくさんあると思います。

江島 沖縄はネット通販で販路が広がるお店や企業が当時も今もたくさんあると思います。

全国どこで開催するときも言えることですが。

安慶名 沖縄におけるネットビジネスの必要性は今ももちろん続いていると思っ

ています。新型コロナウイルスが流行したときに国際通り付近のお店でホームページの開設率を調べてみたら、だいぶ少ないことが分かりました。これまでは、宣伝しなくても観光客は買いにくるしリピーターも多い。ネットでのPRや販売は必要ないと思ってお店が非常に多かったんです。コロナをきっかけにホームページを制作して、ネット通販を始めたお店も増えています。



安慶名 貴重なご意見ありがとうございます。公社も沖縄ベンチャースタジオも、沖縄経済の振興のために今後ますます進化していきます。本日はどうもありがとうございます。

島田 今世間はテクノロジーの変化という面でAの登場により大きな節目を迎えているタイミングです。これはインターネットやスマホの登場に匹敵する規模。それを意識した上で、人材の活用や沖縄のライフスタイルを活かしたウェルネスに注目が集まると思います。Aに任せられることは任せて、人間もさらに進化する必要がありませんよ。こうした状況の中で、沖縄ベンチャースタジオとしては、やはり沖縄の経済をちゃんと見て、正面から取り上げ続けることを期待します。

もしもですが、「今後の世界はこうなったら素敵だな」と思う価値観が沖縄にはあるというか。生き方のお手本になるようなライフスタイルが沖縄の経済を支えるのかもしれないと思います。



アイデアなアイデア

話題になる新商品や新たな取り組みは必ず良いアイデアがもとになっている。知恵と努力とひらめきから生まれたものとは？



華やかな「紅型」を暮らしの中に 手染めタッチのプリントを多彩に商品化 『紅型柄プリント商品の 製造・販売』

BLANCJUJU

価格を抑え各業界からOEM受注
「カジュアル着物」市場にマッチ、全国へ

紅型柄のプリント商品を販売するブランド「BLANCJUJU」(ブランジュジュ)は、バッグやポーチといったファブリック製品だけではなく、ワイングラスやペン、祝儀袋など多彩なアイテムを取り扱う。特徴的なのは、代表を務める紅型作家の吉水壽美さんが手掛けたデザインをデータ化してプリントしているため、



昨年から手がけ始め、大きな反響を得た紅型柄のカジュアル着物



紅型柄を暮らしに取り入れやすいようにと、普段使いしやすいポーチなどの小物も展開

手染めのタッチがそのまま商品に反映されることだ。この手法が強みとなり、事業の幅を急速に広げている。

ブランドの立ち上げは2015年。吉水さんが12年間の工房修業を経て、独立した。掲げたテーマは「紅型をもっと暮らしの中に」。手染めの本紅型は高価で簡単には手が届かない。そこで考案したのが、プリントによる商品開発だった。柄に使うのは自ら手染めした紅型。繊維が織りなす細かいラインもそのまま再現するため、デジタルで描くことはせず、手染めした紅型を直接撮影しデジタル化。また、データ上で色の変更は行わず、色違いのパターンも全て手染めで染め直すという徹底したこだわりを持つ。こうすることで、手染めの紅型らしさをしっかりと残したまま、様々な素材にプリントすることが可能になった。

「紅型は強い色を使った鮮やかな色彩が魅力ですが、県外の人は紅型自体をほとんど知りません。普段使いのものを作れば触れてもらえると嬉しい、小物の制作を始めました」と吉水さん。専門的に経営を学んだことはないが、持ち前のバイタリティーでホテルや土産品店などに自ら営業をかけ、卸先を開拓していった。

花や動物、フルーツなどをモチーフにした華やかな絵柄や質感に対する評価は高く、今度は企業・団体からOEMの案件が続々と舞い込むようになった。観光協会のユニフォーム、リゾートホテル館内の壁の装飾、航空会社のオリジナル扇子などその内容は多様。さらに、金銭的な負担の大きさや海外公演での管理の難しさなどから、本紅型の衣装を自前で持つことができないう若手の琉球舞踊家から依頼を受け、絹地に紅型プリントをあしらった衣装を制作。本紅型の4分の1



代表であり紅型作家である吉水壽美さん。BLANCJUJUの紅型柄はすべて自身で手掛けている

BLANCJUJU
北谷町桑江588-15
スカイフラワー桑江1F
☎098-926-1930
https://blancjuju.com/



ほどに抑えた価格帯や扱いやすさが好評を得た。この取り組みは令和2年度に沖縄県の経営革新計画にも承認されている。

昨年11月には、東京で開かれた日本最大級の着物イベント「きものサローネ」に初参加し、吸水速乾、洗濯OKの素材を使った着物を展示したところ、普段着感覚でオシャレを楽しむ「カジュアル着物」のジャンルから注目を集めた。日本橋三越本店や新宿高島屋など全国各地の名だたる百貨店から依頼が殺到し、今年だけでイベント出展は11回に上る。

もともと着物に馴染みの深かった吉水さんだが、カジュアル着物市場の広がりには予想していなかったという。「こんなに需要があると本当に驚きました。今後はさらに全国各地でのイベントに力を入れていきたいです」と吉水さん。ブランド設立から10年目。県外における紅型の知名度を上げたいという想いが、結実し始めている。

「運転請負業」とは異なる「運転請負業」 「折り畳み式電動バイクで向かい1人で対応 『運転請負サービス ポケバイ』」

合同会社ファニージョニー

法的に第一種免許で「可」
コスト削減や人手確保で強み

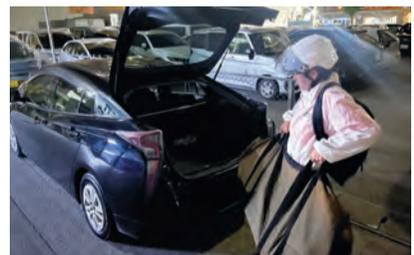
運転代行業とは異なる「運転請負業」を

ご存知だろうか。沖縄県内では極めて珍しいこのサービスを展開するのは、糸満市を拠点とする(同)ファニージョニー。2人体制で稼働する運転代行に対し、運転請負は折り畳み式の電動バイクを使ってサービス利用者の元へ向かい、利用者の車両のトランクなどに折り畳んだバイクを乗せて目的地まで運転するため、1人での対応が可能だ。

サービス名は「ポケバイ」。代表の金城弘樹さんが旅行で中国へ行った際、一人運転請負業の形態が社会に浸透している現状を目の当たりにし、「代行利用が多い沖縄なら需要が大きいはずだ」と感じ、2021年4月にサービスの提供を始めた。開始前に視察した福岡県の事業者は1台50万円のバイクを利用してしたが、同時期に兄が設立した会社「LIBERIDE」に中国のメーカーと取り引きして独自の電動バイクを生産してもらい、1台10万円台で購入できる体制を整備。維持費も含め、機材にかかるコストを大幅に圧縮した。

「随伴車が伴うもの」と定義され、普通自動車の第二種免許が必要な運転代行業に対し、運転請負業は第一種免許で従事できるという。

「折り畳み式電動バイクを使った運転請負サービスが法的に大丈夫なのかと利用者から聞かれることがあります。政府からも問題ないと正式な見解が示されています。運転代行の業界で人手不足が叫ばれる中、ドライバーを確保するハードルが低いことは大きな利点です。採用前には研修を必ず実施し、電動バイクの使い方や利用客の車を運転する際に注意すべき点などを伝え、実習の基準をクリアしなければ採用はしません。また、保険会社に運転請負業で利用できる独自の保険商品も開発してもらいました。沖縄県の



折り畳み式電動バイクは車のトランクなどに簡単に積み込むことができる

経営革新計画に承認されたことも自信につながりました」と金城さんは話す。

もフランチャイズ展開しており、全体で15台の電動バイクが稼働している。週末は1日に南部のみで70〜80件の配車依頼があり、着実に知名度が上がってきている。「この業界はドライバーの数が多く、より短い時間でスムーズに配車できることが選ばれるための一番の鍵なんです」と説明する金城さん。今後2〜3年で稼働台数を50台に増やす計画だ。昨年11月には依頼の手軽さや効率性を向上させるために独自の配車マッチングアプリをリリースした。将来は自社のドライバーが対応できない時に、連携する代行業者にマッチングされる仕組みの導入も検討している。

ライドシェアの解禁などを運ぶ業界が変革期を迎える中、ポケバイのサービスが拡大していく可能性は十分にありそうだ。



身軽に現場へ向かうスタッフ



2〜3年以内に事業規模を現在の3倍以上にしたいと話す代表の金城弘樹さん

合同会社ファニージョニー
糸満市糸満1963-1F
https://2016-fj.com/



Challenger ビジネスの 挑戦者たち

日々変化する経済環境や時代の流れを読み
ニーズを捉えてビジネスへと結びつける。
そんな並々ならぬ情熱を持ち
失敗を恐れずチャレンジする人たちがクロージングアップ。



ファミリー企画株式会社
代表取締役社長
平良 奈々 さん

沖縄県出身。鹿児島の中高一貫校を経て、上智大学外国語学部入学後、スペインへ留学。スペイン女性の生き方に感銘を受ける。大手食品メーカーに入社、化粧品部で美容部員、法人営業を経験。帰沖し2015年にファミリー企画(株)設立。沖縄コスメブランド「Chulabi」、「MOZUKU COSME(もずくコスメ)」を立ち上げる。

女性が輝き続けるために 沖縄県産素材を活かした観光コスメを

**差別化戦略と行動力で
唯一無二なコスメの開発に着手**

2019年の発売以来、パッケージのインパクトとみずくをコスメに使うというアイデアから評判になり、累計販売は2024年8月時点で約8万個を達成。地域資源を活用した美容アイテムに贈られる「ジャパンメイド・ビューティーアワード2019」の審査員賞を受賞した「もずくパック」。現在は洗顔、マスクシート、ハンドクリームなどラインナップを増やし、「MOZUKU COSME」シリーズとして沖縄を代表するお土産の座を確立している。そんなもずくコスメの企画開発から販売まで、すべて手掛けたのがファミリー企画(株)代表の平良奈々さんだ。

平良さんは、ご家族の影響で幼少期には海外に渡航する機会が多く、また学生時代も沖縄を離れて様々な文化に触れてきたため、沖縄を俯瞰してみることも多かったという。美容の世界を志したきっかけは、大学時代に留学したスペインのホームステイ先のおばあちゃんとの出会



ファミリー企画の代表的なブランドとなった「MOZUKU COSME」

「ステイ先のおばあちゃんは、毎日、メイクアップしてカフェに出かけていたんです。いくつになっても美にこだわりの自分の人生を大切にしているその姿は本当に素晴らしい、とても感化されました」と平良さん。

年を重ねるごとにきれいになっていく

最初は月桃や島人參などを原材料としたコスメを開発し、営業に回ったという平良さん。しかしながら取り扱って置くところは少なく、さらにせっかくなにも関わらず商品が売れないという負のループに陥ったという。前職で培った営業力に加え、商品の良さに誰よりも自信を持っていた平良さんにとって、その現実には厳しいものだった。ポジティブな性格で、何事にも果敢に挑む平良さんだが、その時期は本当に苦しかったという。

「でも、ただ悩むくらいなら一歩でも前に進むことをした方がいいですよ」と、平良さんはバイヤーになぜ取り扱ってもらえないのか、なぜ売れないのか

ヒントは現場にある 徹底的なPDCAで差別化戦略を

ヨーロッパの女性たちを目的にしたり、日本でも多くの女性が輝ける社会を創造したいと化粧品業界に入った。化粧品に関わる中で、沖縄は自然由来の材料の宝庫でありながら、それを活かした化粧品が少ないことに違和感を持ったという。その沖縄の宝を活かし、地域に貢献したいという気持ちが強くなり、自身で化粧品ブランドを立ち上げることを決意し帰郷した。



那覇市壺川の直営店ではMOZUKU COSMEのほか、コラゴ商品もずらりと並ぶ。オンラインショップも展開中

ファミリー企画株式会社
那覇市壺川2-2-9
<https://shop.mozukucosme.com>



について徹底的に聞いて回った。そこで返ってきたのは「お土産はどれも似たり寄ったりなんだよね」という回答。これをヒントに考えを巡らせていた中、たまたまドライブの途中でみずくを目にした平良さんは「これだ」とひらめいた。すぐさま作業をする人たちに声をかけ、卸してもらえないかと直談判。げんきな表情の相手をもともせず巻き込む行動力が「もずくパック」の足掛かりを作った。さらに、商品を売るにはPR戦略が必要だと、徹底的なマーケティングを元にインパクトのある広告を打ち出したところ、それは瞬く間に話題となり、もずくコスメは沖縄を代表するお土産の一つとなった。

平良さんは今後コスメだけでなく、衣食住を通じて女性が輝くライフスタイルを提案したいという。そのために、観光に特化した自社ブランドの開発、これまでのノウハウを活かして沖縄の素材を使った化粧品のOEM、コラゴ事業の3本の柱での事業展開の構想を練っているとのこと。中でもコラゴ事業は大きな可能性を秘めていると言える。沖縄の最大の強みは協働。平良さんのような沖縄の未来を担う若手経営者が、様々なコラゴレーションを生み、どんな化学反応を起こすのか、楽しみでならない。

設備の導入を応援します!!

【機械類貸与制度】割賦・リース制度のご案内

1.7% 年利率

固定金利

1年据置き

無担保

【お問い合わせ先】

公益財団法人 沖縄県産業振興公社 経営支援課

☎ 098-859-6237 その他の要件等はHPでご確認ください。



「機械類貸与制度」の主な4つの特徴

- ① **金利は1.7%~2.1%です!**(※割賦販売の場合)
制度の利用実績や財務状況等により金利が決まります。また、固定金利となりますので、返済計画が立てやすくなります。
- ② **元金支払いは、設備導入より1年後からスタートできます!!**(※割賦販売の場合)
申込企業の資金繰り状況に合わせて、措置期間は1年・6ヶ月・0ヶ月(措置なし)から選択できます。
- ③ **不動産担保・信用保証協会の保証は不要です!**
※貸与する機械が担保となります。
※ただし、審査委員会の結果によっては、不動産等の担保を求める場合があります。
- ④ **貸与期間は10年以内です!**(※申込機械の耐用年数に応じて短くなる場合があります)
貸与期間が10年以内の長期となりますので、耐用年数が長い機械導入に対して、毎月の支払い負担額が軽減されます。



公社ネットワーク会員からのお知らせ

厳選した福建省の一級茶葉をベースにした 沖縄の新しい「さんぴん茶」を沖縄の定番土産に!

沖縄で伝統的に飲まれているさんぴん茶。自社で厳選した福建省の一級茶葉をベースにハーブや花、果実などの副原料を盛り込んで、沖縄らしい南国フレーバーを実現しました。現代のお茶に対する多様なニーズに応えるため、ティーバッグを採用し幅広い年齢層に気軽に手に取っていただけるよう、お茶に対するイメージの転換も意識した商品にしました。今後はハーブ、果実、ミルクティーといったアレンジも展開していきます。



イー-tonポート

☎ 090-6865-0918
https://www.instagram.com/shimacha_oki/



ノスタルジックな中に新しさが宿る コザレトロスイーツ ZAZOUアップルパイ

ZAZOUは1989年、外国人の行き交う沖縄市コザゲート通りにフランス風パン屋として創業しました。それから35年、アメリカ人をはじめ、各国の外国人、ウチナーンチュに育てられ、ヨーロッパとアメリカとウチナーがちゃんぶるーになったコザにしかないパン屋として成長しました。

今月からコザレトロスイーツと称し、ノスタルジックな中にも新しさが宿る、新商品のコザZAZOUアップルパイを販売しています。自慢の生地のおいしさを味わってください。

ZAZOU

☎ 098-934-2380
https://www.instagram.com/zazou_okinawa



PRチラシや冊子の制作・印刷はもちろん ウェブやSNS、イベントやマーケティング調査もお任せ

1950年に印刷会社として創業した光文堂コミュニケーションズ(株)はチラシやPR冊子、企業の記念誌をはじめとする幅広い紙媒体の制作、印刷を通してお客様のPR活動や課題解決のお手伝いをしています。印刷物だけでなく、ウェブサイトの制作やSNSの企画・制作・運用、イベント企画やマーケティング調査など、さまざまな媒体を組み合わせたご提案もしています。「こんなことがしたい」「この問題を解決したい」など、会社の困りごとをお聞かせください。課題解決の先にあるご提案をいたします。



光文堂コミュニケーションズ株式会社

☎ 098-889-1121
https://www.kobundo.net



Windows10内蔵 MAXHUBでもっと効率的な会議や商談を

昨年よりコミュニケーションボード「MAXHUB」を導入し、業務の効率化を図っています。MAXHUBはカメラ、スピーカー、マイク、モニター、ホワイトボードなど、ウェブ会議に必要なアイテムをすべて搭載した電子ホワイトボード。ウェブ会議のセッティング時間の削減や、録音録画も可能で会議の効率化ができます。興味のある方はぜひお問合せください!



株式会社サン・エージェンシー

☎ 098-862-3939
https://www.sun-agc.co.jp



MAXHUB CM
YouTube動画

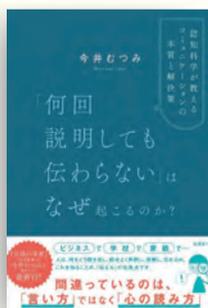


(公財) 沖縄県産業振興公社ではネットワーク会員を募集しています。特典の一つとして上記お知らせ欄への無料掲載があります。情報紙は毎月16,000部、年3回発行で、県内企業や事業者、一般県民など多くの方に読まれています。ぜひ自社PR等にお役立てください。ほか特典メニューもご用意。詳しくは <https://okinawa-ric.jp/info/members/> まで。



大住 力(著)
あさ出版
税込 1,694円

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ」
新しく人を入れるわけではなく、今いる従業員と一緒に組織をより良くしていくにはどのようにしたらいいでしょうか。20年以上の間ディズニーで多岐にわたる経験を積んできた著者が、従業員個々のモチベーションに頼らず、全員が一定の成果を出せるようになる仕組みを解説していきます。
「働きがい」のある職場をあなたも一緒に作っていきましょう!



今井むつみ(著)
日経BPマーケティング
税込 1,870円

「なんで説明したのにわからないの」という経験は誰もが一度はしたことがあると思います。それは相手が話を聞いていないか、理解しようとしていないか、原因はあなたにあるのかもしれませんが、どうして「勘違い」や「伝えたつもり」が起こってしまうかを、著者の経験などを例を用いて解説。
あなたは相手のスキーマ(認知の枠組み)を考えながら話すことが出来ているでしょうか?

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」
従業員のやる気を出させたい!

ジュンク堂書店 那覇店が、
沖縄のビジネスマンにおすすめする
ビジネスに役立つ良書をご紹介します!



ジュンク堂書店 那覇店

〒900-0013 那覇市
牧志 1-19-29 D-naha 1F~3F
電話番号: 098-860-7175
営業時間: 10:00~21:00



X(旧 Twitter)
アカウント
@junkudo_okinawa

ビジネスを未来に進めるヒントは読書から。良いインフラットが、良いアウトフラットに!

ビジネス書紹介コーナー

「何回説明しても伝わらない」
はなぜ起こるのか?
どうしてわかってくれないの!?

D-naha 地下にお越しください!

ジュンク堂書店那覇店の地下、D-naha B1階にある、県内最大規模となる約300坪の巨大ショップです! 大人気のアニメ雑貨やおもちゃなど、新品 & 中古がなんと15万点以上! ぬいぐるみ・フィギュア・ゲーム・プラモデル・トレカ・ファンシー雑貨・アイドル雑貨・アニメCD・アニメ映像・写真集・原画集など、子どもから大人まで家族みんなが楽しめる豊富なアイテムがいっぱい!



B1 駿河屋那覇沖映通り店

D-naha B1階
電話番号: 098-894-2238
営業時間: 10:00~21:00



X(旧 Twitter)
アカウント
@surugaya_naha



ボーカルのNANAE、ベースのKEITA、ドラムのMAIKOによる沖縄出身3ピースバンド。2004年に結成、2011年に映画『高校デビュー』主題歌でメジャーデビュー。人気アニメ『NARUTO-ナルト-疾風伝』や映画『今日、恋をはじめます』、ドラマ『勇者ヨシヒコと導かれし七人』等のテーマソングに続々起用。2020年12月に事務所設立、昨年夏には14枚目シングル『夜明け』をデジタル配信限定リリース。2024年は結成20周年を記念し、12月に東京、沖縄でのライブを予定。



公式HP
http://7oops.com/



公式
YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/sevenoops

seven oopsさん

ミュージシャン



表紙の人
INTERVIEW

20年で培った経験を今後の自分たちの音楽に活かし これまでの感謝と恩返しの気持ちで歌を届ける



seven oops
結成20th Anniversary LIVE

【東京公演】
2024年12月1日(日)
場所：JZ Brat SOUND OF TOKYO
<昼公演>OPEN 13:00 / START 14:00
<夜公演>OPEN 17:00 / START 18:00

【沖縄公演】
2024年12月14日(土)
場所：北谷MOD'S
OPEN 15:00 / START 16:00

<一般販売>
10/27(日)10:00~11/24(日)23:59
チケット料金¥5,500(税込)
※会場にて別途ドリンク代
詳細はHPにてご確認ください。

「20年も音楽活動をやり続けられるとは夢にも思わなかった。自分たちが一番驚いています。長いようであつという間。嬉しいことも楽しいことも、悔しいこともあつた濃厚な20年でしたが、気がつけば経っていたという感じです」

今年でバンド結成20年を迎える感想をそう話すのは、seven oopsのNANAEさん、KEITAさん、MAIKOさんの3人のメンバー。2004年、高校生でバンドを結成した彼らは、2011年のメジャーデビューで映画の主題歌に起用されたのを皮切りに、人気アニメの主題歌や映画のテーマソングに次々と楽曲が起用され、その名が世間で知られるようになった。沖縄から全国へ羽ばたき、音楽番組への出演だけでなく、ラジオのレギュラー番組も持つ。また、全国各地でのライブ開催だけではなく、時には海外のフェスにも呼ばれるようになるなど、その活躍は目覚ましいものがある。そうした経験の中でMAIKOさんは「県外へ行くことが増えたことで、沖縄にしかない良さを感じたのは大きなことだったと思います」と話す。同じくKEITAさんもこの時の経験で自分の世界がとて広がったという。

「最近では沖縄から世界へと目標を掲げてトライするウチナンチュの姿が特に目につきます。自分たちも国内のみならず海外進出を目指しつつ、次世代へとバトンをつなげられるミュージシャンでありたいと思います」

「独立して初めてのフルアルバムということもあり、原点回帰をテーマに僕らの原点であるポップスに改めてフォーカスしました」と話すKEITAさんに続き、「史上最高傑作のアルバムになったと自負しています！」とNANAEさん。バンド結成から20年が経ち、自分たちの身体に流れる「沖縄だからこそ」という点を意識しつつ、今後も聴いてくれる人たちの生活に寄り添えるような音楽を作り続けたいと話す。彼らに今後の目標を聞いた。

「個人事務所の設立を決意。これまで以上に自分たちがやりたいこと、やれることを考えて活動するようにになった。プライベートでも、NANAEさんは結婚、出産という人生の一大イベントを経験し、KEITAさんも結婚。MAIKOさんはかねてより興味のある中国語の勉強をさらに深め、台湾へ留学するなど、多忙を極めていく。そのどれもが音楽にも良い影響を及ぼしているという。その集大成とも言えるのが、今年1月にリリースしたアルバム『SEVEN POPS』だ。

中小企業・支援機関
のみなさま

IT化のお悩みを

無料 60分 オンライン 予約制

※HPからご予約ください

私たちが
サポート
します!

(独)中小機構 中小企業アドバイザー

新垣順一 安谷屋盛広 銘刈幸多

IT経営サポートセンターが解決します!

「もやもや」型のお悩み

何にどう取り組んだらよいか分からない

IT活用の必要性はわかってるんだけど...

誰かに相談したいが...

IT活用が必要なのはわかる。でも具体的にどうすればいいのかわからない。

「ハッキリ」型のお悩み

システムを導入したけれど、社内に定着させるには?

費用対効果は?

自社にはどのITツールが合ってるの?

自社のIT活用に関して、相談したい課題がはっきりしている。

支援機関の方だけでも

- どのようにIT化支援をすればいいのかわからない
- 支援先からのITツールに関する相談に応えたいが、調べても良い答えが見つからない

支援機関の方 ↔ IT経営サポートセンター

支援先企業の方と一緒に

- ITの専門家と一緒に支援先のIT化支援をしたい
- 専門家がどのようにIT化支援を行うのかを学びたい

支援機関の方 ↔ IT経営サポートセンター ↔ 中小企業・小規模事業者

相談の流れ

- STEP.1 申し込み**
カレンダーから日時を選択、予約フォームを入力、予約受付メールの受信
- STEP.2 相談開始**
申し込みの際に受信した「予約受付メール」に記載されているZoom URLからオンライン相談を開始 Zoom対応
- STEP.3 ヒアリング (約30分)**
現状の課題やお悩み、業務の内容や流れ、IT利用状況などについて確認 現状チェック
- STEP.4 問題・課題整理 (約30分)**
「IT戦略ナビ」で課題整理&見える化。具体的なお悩みには個別アドバイス 課題解決までフォロー

※ご要望に応じて、次回相談やほかの支援メニューをご案内

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 沖縄事務所
所在：沖縄産業支援センター 313-1 ☎ 098-859-7566

IT経営サポートセンター 🔍 検索

▶▶▶ 【事業承継推進事業】 事業承継を進めるために必要な事業承継計画の策定支援や、専門家派遣で事業承継をスムーズに進めるため支援します。

ネットワーク

会員広場

沖縄県産業振興公社ネットワーク会員企業の中で、新商品情報やユニークな商品・サービスを開発するなど、独自の取り組みで、オンラインワンをを目指す企業をご紹介したり、講演会・懇親会の企画などを発信します。

株式会社敬天

葬儀のイメージを変え、遺族と故人の最期の時間に寄り添う
県内初のエンバールミングの普及に取り組む



マイナスなイメージが付きまとう葬儀のイメージを変えたい。「納棺師」でもある、(株)敬天の眞真ゆい代表は、遺族らがより良い形で亡くなった方とお別れできるようにしたいという想いのもとに起業。納棺師は、ご遺体を洗い清め、お化粧を施すなど、故人を生前の状態に近づけ、あの世への身支度を整える仕事。敬天は、そうした一般的な納棺師の仕事のほかに、昨年11月から「エンバールミング」の事業にも取り組んでいる。日本語では「遺体衛生保全」と言い、専用の保全液を遺体へ循環させることで防腐や殺菌などの効果があり、衛生的な状態を保つことができる上、納棺師では行うことができない身体の傷や欠損の修復も行えるのが特徴だ。

この処置を担うのは、専門学校に通って日本遺体衛生保全協会(I.F.S.A)が認定するエンバールの資格を取得した、眞真代表の弟の眞真嗣音さん。エンバールミングを施すことで、ドライアイスを使わずとも、処置後50日以内は遺体が保全できる。ドライアイスによる冷気や二酸化炭素中毒の危険性がないので、遺族は故人との添い寝も叶うという。

「葬儀は亡くなった方のために行われますが、遺された人たちが故人とお別れをする場でもあります。エンバールミングをするからこそ、ゆつくりとお別れをする時間を持ち、後悔の念をより軽減できると考えています」と眞



「沖縄ではまだ知名度が低いですが、日本では30年前からエンバールミングが導入されており、県外では地域によってエンバールミングを選択する遺族が6割を超える地域も。さらにアメリカでは9割以上の方が選択するほど浸透しているんです」と話す眞真嗣音さん



全国初の「移動式」エンバールミングセンター。トラックで牽引するなど陸路の移動が可能



眞真ゆい代表と眞真嗣音さん。姉弟で同社だからこそできる故人の旅立ちのお手伝いをする

株式会社 敬天
南風原町宮平491-1
☎ 098-889-7227
<https://www.keiten.co.jp/>



眞代表。事業を始めた当初と比べ、少しずつ需要が高まっている。需要が増えている背景には、沖縄ならではの事情もある。一つ目は、昨今の火葬場がひっ迫している問題

だ。高齢化で死亡者が増える中、コロナ禍で拍車がかかり、火葬まで1週間以上かかって腐敗が懸念される事態が県内各地で発生。しかし、エンバールミングを行えば腐敗させずに火葬を待つことができる。また、米軍基地の存在や観光地であることから県外、海外の方が沖縄で亡くなることも多い。高温多湿な沖縄は県外とは異なり、告別式前の火葬が主流だが、処置を施せば火葬せずにそのまま親族らのもとに飛行機搬送ができる。

これらの理由を念頭に、沖縄で活動するただ一人のエンバールである眞真嗣音さんは「沖縄にこそ必要な技術です」と言い切る。大規模災害などを想定し、感染症の拡大を防ぐために全国初となる移動式のエンバールミングセンターを作ったほか、県外で活躍するエンバールミングを呼び寄せることも予定している。社会的ニーズが高まる中、今後も先駆者としての使命と向き合っていく。



ご遺体を衛生的に保存するための処置を施す



移動式エンバールミングセンター内の処置室

お手軽料金で経営に役立つサービス色々！
公社ネットワーク会員制度

公社ネットワーク会員 検索
<https://okinawa-ric.jp/info/members/>

海外REPORT

訪日観光客急増！
日本食人気続くオーストラリアで沖縄をPR



オーストラリア委託駐在員
飯島 浩樹

from シドニー

■訪日オーストラリア人旅行者数過去最高へ

日本政府観光局(JNTO)によると、昨年(2023年)1年間に日本を訪れたオーストラリア人は約61万3,000人で、過去最高を記録した2019年(約62万2,000人)とほぼ同水準まで回復しました。また、今年前半(1月~7月)には、すでに51万人のオーストラリア人が訪日。1年間に約90万人の来訪が見込まれています。

北澤直樹(JNTOシドニー事務所長)は、一人あたりの消費額が非常に高く日本の伝統文化や体験に大変興味があるオーストラリア人に沖縄をアピールするには、「食」を軸にストーリー性を持たせることが重要だと指摘します。

■沖縄の「食」を現地でPR

今年7月27日、オーストラリアで沖縄の「食」と「文化」をPRすることを目的に「沖縄“ソウルフード”ナイト」と題したイベントが、シドニー市内の日本食レストランで開催されました。これは、オーストラリアで沖縄の文化などを紹介する活動を行う「豪州かりゆし会」が主催、沖縄県産業振興公社と沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)が協力したもので、ゴーヤーチャンプルーや人參シリシリ、沖縄そば、サーターアンダギーなどを、集まった約80名の参加者に振る舞いました。

また、比嘉酒造の泡盛「残波」とオリオンビールの試飲・販売を行い、オーストラリアの著名料理研究家のアダム・リアウ氏が、沖縄料理の魅力についてスピーチしたほか、空手の演舞や現地在住の沖縄県出身者の音頭によるカチャーシーを参加者全員で踊りました。



沖縄ソウルフードナイト(カチャーシー)

■沖縄発「やっぱりステーキ」4店舗を各都市にオープン

訪日オーストラリア人が急増する中、現地での日本食人気は継続しており、シドニーやメルボルンなどの大都市では、従来から人気の寿司やラーメンなどを出す和食レストランに加え、日本風の焼き肉やしゃぶしゃぶを扱う飲食店などが次々とオープンしています。

2023年8月にオーストラリア1号店をシドニーに開店した沖縄発のステーキチェーン「やっぱりステーキ」は、同年12月にブリスベン、今年はメルボルンに2店舗をオープンさせました。(※メルボルンの4店舗目は9月24日開店)

シドニー店は、ピーク時に40人ほどの入店待ちの列ができるほどの人気で、運営会社のディーズプランニング(本社：那覇市)海外事業部の赤塚威さんは「今後3年の間に海外で100店舗の出店を目指している」「牛肉の生産国であるオーストラリアの肉を、違う地域に持って行く架け橋を作りたい」と話しています。

昨今の円安により、日本を訪れるオーストラリア人旅行者は今後ますます増えることが予想され、「ブルーゾーン」に代表される沖縄のイメージや認知度も上がっていることから、沖縄の「食」と「文化」を軸にした県内企業の現地進出や県産品の輸出へ、まさに「良い波」が来ているのかもしれない。



「やっぱりステーキ」メルボルン市内店

海外事務所 facebookやってます！

<https://www.facebook.com/okinawa.kaigai.ric>



【お問い合わせ先】海外・ビジネス支援課 担当：小浜 ☎ 098-859-6238

QRコードを読んで応募
読者プレゼント

アンケートに答えて県産品を当てよう!!

ファミリー企画(株)より「もずくパック」を
抽選で3名様にプレゼント



本紙5ページで紹介したファミリー企画(株)のヒット商品「もずくパック」は、多くの水分を蓄え、それを逃さない力を発揮する保湿度に優れたもずくの成分に着目して作られたもの。「第5回ジャパンメイド・ビューティーアワード2019」で審査員賞受賞。話題の商品の使い心地をぜひ試してみてください。

応募締切：2025年3月1日(土)必着

QRコードを読み取り、必須項目をご入力の上、ご応募ください。

- ご応募は1回のみとさせていただきます。
- プレゼントの発送をもって発表と代えさせていただきます。
- 個人情報はプレゼントの発送のみの情報として使用いたします。



タブロイド判
沖縄ベンチャースタジオ 76号

TAKE FREE

2024年10月25日発行

発行：(公財)沖縄県産業振興公社 ☎ 098-859-6237
<https://okinawa-ric.jp>

編集：光文堂コミュニケーションズ(株) ☎ 098-889-1131

本紙についてのご意見・ご感想、広告掲載に関するお問い合わせは
ovs@okinawa-ric.or.jp まで「情報紙について」の件名を入れて送信して下さい。

※非売品につき有償での譲渡および転売を一切禁じます

